

衆議院厚生労働委員会臓器の移植に関する法律の一部を改正する法律案審査小委員会ニュース

平成 21.4.21 第 171 回国会第 1 号

4 月 21 日（火）第 1 回の小委員会が開かれました。

- 1 臓器の移植に関する法律の一部を改正する法律案（中山太郎君外 5 名提出、第 164 回国会衆法第 14 号）
臓器の移植に関する法律の一部を改正する法律案（石井啓一君外 1 名提出、第 164 回国会衆法第 15 号）
臓器の移植に関する法律の一部を改正する法律案（金田誠一君外 2 名提出、第 168 回国会衆法第 18 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）日本医科大学付属病院副院長

日本医科大学大学院教授（侵襲生体管理学）

横 田 裕 行君

日本弁護士連合会人権擁護委員会 特別委嘱委員

光 石 忠 敬君

元国立小児病院小児医療研究センター 名誉センター長

雨 宮 浩君

大阪医科大学小児科学教室 准教授

田 中 英 高君

青山法務事務所所長

海外渡航による心臓移植経験者

青 山 茂 利君

財団法人日本宗教連盟 幹事

斎 藤 謙 次君

（質疑者及び主な質疑内容）

福 岡 資 麿君（自民）

- ・現在の脳死判定基準は不可逆的全脳機能の停止を網羅的に診断できるものとなっているか、また、補完的に脳血流検査が必要とされるのはどのような例なのか、横田参考人に伺いたい。
- ・家族の忖度による脳死判定を可能とする中山案と脳死判定を厳格化する金田案の折衷案も検討されているが、雨宮参考人は折衷案についてどう考えるか。
- ・青山参考人は、海外渡航移植を決断する前には日本で待機すると決心されていたとのことだが、移植を受ける機会が限られている中で、移植待機中の患者の心理状況をお聞きしたい。

榎 屋 敬 悟君（公明）

- ・光石参考人はドナーの命を尊重する必要性について述べているが、善意の発意としての臓器提供についてはどう考えるのか。また、脳死・臓器提供を国民に浸透させるため公的な広報を行うことについて、どう考えるか。
- ・田中参考人は、小児については虐待かどうかの判別が難しいので脳死による臓器移植に否定的見解とのことだが、小児医療の現場において、まず虐待を判別できるようにするため、やらなければならないことがあるのではないか。
- ・斎藤参考人は、日本においては脳死を人の死と認められない状況があると発言されていたが、諸外国における脳

死・臓器移植に対する考え方についてご存知なら教えていただきたい。

園 田 康 博君（民主）

- ・脳死の定義上、「全脳」と「脳全体」、「機能の停止」と「機能の喪失」にはどのような違いがあるのか横田参考人及び光石参考人の見解を伺いたい。
- ・主治医とは異なるチームが別途脳死判定することについて、横田参考人及び雨宮参考人はどのように考えているのか。
- ・我が国でどの程度小児の長期脳死例が発生するのか。また、こういった事例に対する解明の手立てがあるのか。

高 橋 千 鶴子君（共産）

- ・脳死判定を行うに際して、日常業務にどのような支障が生じているのか横田参考人の見解を伺いたい。
- ・臓器移植の意思があってもドナーカードを常時携帯していない者が多い状況について、光石参考人及び横田参考人はどのように考えるのか。

阿 部 知 子君（社民）

- ・横田参考人が所属する日本救急医学会の提言において、「脳死は人の死」としていることが患者を不安にさせるのではないかと思うが、このように「脳死は人の死」と

した理由を伺いたい。

- ・臓器移植をめぐる問題点について、医学界の中でも様々な議論があることから、雨宮参考人が所属する日本移植学会は他の学会とともに整理していくべきではないか。
- ・生体移植や組織移植についても本人の同意を必要とした金田案に対して光石参考人の評価を伺いたい。